

6年生への感謝の気持ちをこめて…

全校でつくり上げる「6年生に感謝する会」が2月21日(金)に開かれました。6年生に感謝する会実行委員が中心となり、「今までありがとう6年生 ~みんなで伝えよう 感謝とエールの気持ちを~」の



テーマのもと、第1部のたてわり班ごとのレクレーションと第2部の全体会を行いました。



第 | 部では、5年生がリーダーとなって、たてわり班ごとに「王様じゃんけん(6年生が王様)」や「6年生に関するクイズ」を楽しみました。第 2部では、1年生から5年生までの各学年から6年生に向けて、歌や合奏、お話やダンスなどをとおした感謝のメッセージが伝えられました。また、サプライズの企画で、実行委員から詩の群読とメッセージ、1年生から5年生の合唱、6年生から1年間の歩みと各学年に向けてのメッセージがスライドとともに発表されました。どの

発表も練習の成果を生かし、感謝の気持ちを精一杯伝えようとする姿があり、会場はあたたかい空気であふれていました。また、会場には、テーマとともに、6年生への感謝の寄せ書きが飾られ、一体感をより高めることができました。

|年生から5年生は、今年度八田小学校を引っ張ってくれた6年生に感謝の気持ちを伝えることができ、満足そうでした。特に5年生は、次は自分たちが八田小学校のバトンを引き継いでいくのだという気持ちになったと思います。6年生は、いよいよ卒業を迎えるのだと実感したことと思います。残り少ない3学期の|日|日を大切にしていきたいと感じた素敵な会でした。

児童会のまとめと新児童会への引継ぎ



2月14日(金)に「第2回児童総会」が開かれました。本年度の児童会テーマ「一つのにじを」を全校で意識し、活動の柱である①笑顔あふれる八田小、②他学年との交流を大切に八田小、③ピカピカきれいに八田小、④みんな平等八田小の4つに取り組むことで、全校のみんなと先生たちが一つになって大きなにじをつくることができたと児童会本部のふり返りがありました。今年度は、



たてわりタイムやドリームタイム、運動会などをとおして、学年関係なく楽しんだり、協力したりする姿が見られました。

最後に、今年度と来年度の児童会本部のメンバーが前に立ち、引継ぎが行われました。今年度会長の大場春菜さんからは、「6年生のおかげでたてわりタイムなど、みんながなかよく過ごせたことがよかった。来年度は、さらにあいさつが活発な八田小になれるように頑張ってほしい」とまとめの言葉がありました。来年度会長の望月翔太さんからは、「八田小を『積極的に行動でき



る元気な学校』にしていきたい。今年度の本部のように仕事に責任をもって行動できるようにしていく。全校でさらによいハ田小をつくっていこう」という決意と呼びかけがありました。 来年度に向けて、さらなる期待が高まる児童総会でした。

I 年間の成長を見ていただきました!



2月4日(火)に、3·4·5年生の授業参観を行いました。今回の授業参観は、全ての学年で道徳をテーマに授業をしました。

3年生は、「公園のひみつ」というお話をとおして、身の回りで生活を支えてくれている人に目を向けました。お家の人はもちろん、友だちや先生、地域の方にも支えられていることが確認できまし

た。4年生は、「世界の人々に目を向けて」というお話をとおして、世界の国々で

の生活について考えました。グループでの話し合いをスムーズに進め、活発に意見交換をしていました。5年生は弁護士を外部講師として招いて「人権」について考えました。弁護士の仕事について理解するとともに、人権を守るとはどういうことなのかを短時間で学びながら、ともに考えることができました。





2月7日(金)は、I・2・6年生が授業参観を行いました。I年生は、「ありがとうのくすり」というお話をとおして、感謝の気持ちについて考えました。お家の人がいるところでも、堂々と意見を発表することができました。2年生は、「ぐみの木と小鳥」というお話をとおして、「思いやり」について考えました。6年生は、様々な資料から「感謝」について考え、感謝の気持ちを伝えたい人に向けて書いた手紙を、みんなの前で発表をしました。家族に

向けて感謝の気持ちを伝える児童が多く、手紙をうなずきながら聴く家族や手紙を読みながら言葉に詰まってしまう児童の姿を見ることができ、大変温かな気持ちになりました。

保護者の皆様には、I年間の様々な行事やサポートティーチャー等の活動をとおして、学校へ足を運んでいただき、ありがとうございました。また、今年度PTA役員として活動してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。今回の学年部会で、来年度のPTA役員も選出することができました。令和7年度も、学校と家庭、地域で力を合わせ、ハ田小学校らしい前進をしていきたいと考えております。これからも、引き続き学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。